WHITE PAPER ｜ 社員～100名の成長企業の経営者・人事責任者へ

RAD
RAD company

「評価制度を作っても、組織が変わらない」その理由と解決策

経営と組織人事をつなぐ「全体最適化」実践ガイド

株式会社RAD ｜ 経営革新等認定支援機関 ｜ 2026年11月版

施策を足しても組織が変わらない「部分最適」の罠

失敗パターン 1

評価制度だけを導入する

評価項目が会社の目標とつながらず、面談は形だけに。1〜2年で「誰も気にしない制度」になる。

失敗パターン 2

研修だけを実施する

学んだ行動が評価や処遇に反映されないため、現場に戻ると元のやり方に戻ってしまう。

失敗パターン 3

管理職に任せきりにする

判断の基準が共有されず、結局すべての確認が社長に集中。社長が現場を離れられない。

共通の原因 経営が目指す方向と、現場の評価・育成・処遇がバラバラに動いていること

目指すのは「経営 × 組織」の全体最適

軸 1
経営の方向
どこを目指し、そのために
どんな人材・行動が必要か

→

軸 2
人事の仕組み
その行動と成果が正しく
評価・育成・処遇される制度

→

軸 3
現場の運用
管理職が日々のマネジメントで
制度を使いこなす状態

部分最適（よくある状態）

3つの軸を別々の担当・別々の時期に整えるため、どこかで話がつながらない。

全体最適（目指す状態）

経営の方向から逆算して、制度と運用を一本の線で設計する。社員は「何をすれば評価されるか」が分かる。

全体最適を実現する「4つの連動ステップ」

01
現状診断
事業計画・数字と組織の課題をまとめて棚卸しし、本当のボトルネックを特定する

02
制度設計
経営目標と各職種の役割から逆算し、評価基準・等級・育成・処遇のつながりを設計する

03
浸透・伴走
社員への説明、評価者（管理職）研修、面談の支援で、制度を現場の言葉に落とし込む

04
運用・改善
運用状況を定期的に見直し、事業の変化に合わせて制度と運用を更新し続ける

ポイント：制度を「作って終わり」にしない。**03・04の運用まで**をセットで設計することで、初めて現場が変わります。

場当たりの研修から、会社の目標につながる「育成体系」へ

製造業　従業員 約300名　テーマ：人材育成体系の構築

ご支援・実施した内容

- 教育制度と、階層ごとの課題の分析
- OJT（現場育成）とOFF-JT（研修）の役割整理
- 次世代リーダー・新任管理職・新卒の研修計画
- 研修効果の測定方法の設計
- ジョブローテーション制度の検討・提案

全体最適のポイント

研修を単発で「足す」のではなく、**階層ごとに求める役割**から逆算して、現場での育成（OJT）・研修（OFF-JT）・配置（ジョブローテーション）を**一つの体系**として設計しました。

さらに効果測定の方法まで決めることで、育成を「やりっぱなし」にせず、見直し続けられる仕組みにしています。

評価制度を軸に、育成・経営会議・AI活用まで一貫して伴走

医療法人　長期伴走型のご支援　テーマ：人事評価・人材育成・経営体制

ご支援・実施した内容

- 人事評価制度の構築と、運用の改善
- 管理職研修
- 次世代人材の育成研修
- 若手職員の研修
- 経営会議の進め方の改善・強化
- 業務へのAI活用の支援

全体最適のポイント

評価制度を「組織の共通言語」として据え、管理職・次世代・若手の育成を階層ごとにつなげました。

さらに**経営会議の進め方**まで見直すことで、経営の方針が現場の評価・育成に届き、現場の課題が経営に上がる流れを整えています。AI活用は、その運営を支える手段として導入を支援しました。

型にはめず、貴社専用の組織づくりを設計する

選ばれる理由 1

経営の全体最適から逆算

人事だけでなく、経営顧問・事業計画・資金調達まで支援する立場から、事業の成長につながる組織の形を提案します。

選ばれる理由 2

完全オーダーメイド

既製の制度パッケージは使いません。業種・規模・社風・成長段階に合わせて、使いこなせる仕組みをゼロから設計します。

研修のご提供先	事業計画の策定	長期のご支援	人事評価制度の構築
延べ1,000社以上	200社以上	累計100社超	50社以上

06 ｜ 次のアクション

自社の場合、何から手をつけるべきか。30分で一緒に整理しませんか？

30分無料相談でできること

- 評価制度・育成の現状と、経営目標とのつながりの確認
- 「どこから着手すべきか」優先順位の整理
- 貴社に合った進め方のご提案

オンライン対応・全国OK ｜ 無理な営業はいたしません

お申し込み方法

WEB rad-st.jp のお問い合わせフォーム

電話 06-6105-5870（平日10:00〜18:00）

LINE LINEで友だち追加して相談

「資料を見た」とお伝えいただくとスムーズです